

一般質問

武井 多佳子 議員 (フィフティネット)

土井田 学 議員 (新風会)

外国人地方参政権
付与法案に関して

問 国において永住外国人への地方参政権付与の法制化が議論される中、石原東京都知事をはじめとする5名の首長から「永住外国人地方参政権付与法案に慎重な対応を求める署名」が中村市長にも届いていると思うが、市長は、この呼びかけに対してどのように対処するのか。

答 「永住外国人地方参政権付与法案に慎重な対応を求める署名」については、地方

の意見を十分に反映することが肝要である。また、在住外国人の地方参政権を認めている国においても、厳しい条件を課していることなど、これら正確な情報が国民に伝えられていない中で、拙速に国会に法案が提出されるべきではないと判断し、その趣旨に賛同する旨の回答をしている。

柑橘農家支援の
今後の展開について

問 本市単独事業「かんきつ農家品種転換緊急対策事業」で有望品種への転換支援を行うとのことだが、本事業以外の柑橘農家支援対策及び販路開拓、



（その他の質問事項）
ことばのちからイベント事業に関して、教育関連について

答 現在、本事業に加え、園内道整備など基盤整備等への支援や改植による未収益期間にソラマメなどによって収益を確保する「かんきつ農業経営複合化等推進事業」などを実施している。また独自の販売をしている農家に対して販路開拓やインターネット販売を習得させる研修や、「紅まどんな」等ブランド産品を一部の学校給食に採用している。さらに柑橘の用途拡大のため、農工商連携による取り組みに対し支援を行うなど、今後も生産から販売までの一貫した支援に取り組みたい。

並びに消費拡大対策等の今後の展開について問う。

DV被害者支援基本
計画の策定について

問 多くの中核市で「配偶者暴力防止基本計画」の策定が進んでいるが、本市では、どのような研究を進めてきたのか。増え続ける相談に対処し、多方面から支援するには、基本計画で各課の取り組みを明確にすべきと考える。

答 他市の取り組み状況等の調査に加え、婦人相談所や警察等の関係機関が参加するケース会議などの検討事例の整

理・分析や「愛媛県DV防止対策連絡会」等を通じて情報収集を行っている。平成22年度には各課で構成する策定準備会の設置も予定しており、今年度中の策定を目指す。

自殺防止対策の
あり方

問 松山市は、愛媛いのちの電話や松山自殺防止センターと連携し、情報を共有して対策を進めることが重要で、民間団体も参加した協議会を持つべきと考える。さらに、ガンブル依

答 県において「愛媛県自殺予防対策連絡協議会」を設置しており、新たな協議会の設置は考えていない。また、当事者団体については、各部署が連携するなかで、心の健康に関する相談窓口について、情報発信を行っている。さらに、広報に随時掲載しているほか、「松山市ボランティアセンター」等の団体やその活動状況を、市民に広く情報提供している。

（その他の質問事項）
平成22年度当初予算、雨水利用、犬・猫の殺害処分をなくす方策について

委員会審査

《総務理財委員会》

平成22年度一般会計予算の歳入関係部分、松山島博覧会の集客数及び経済効果の見込み、文化・スポーツ振興財団をつくる意義、職員の時外勤務の実績、期日前投票における投票所等について、それぞれ質疑応答がなされました。

《文教消防委員会》

災害時の避難所の確保、消防施設の耐震化、幼保小中の連携の推進、学校給食で発生する食品廃棄物のリサイクル、住宅用火災警報器の普及状況、消防救急艇の活動状況、AEDの設置マップを市民に広く提供すること等について、それぞれ質疑応答がなされました。

《市民福祉委員会》

県から権限委譲されるバスポート業務の概要、手数料条例の一部改正、国保財政の今年度収支見込み及び保険料の収納率、介護保険サービスの市民満足度、「みんなのまつやま夢工房」22年度のテーマ、人権

相談の実績及び啓発の方法、保健センター南部分室の運営状況等について、それぞれ質疑応答がなされました。

《環境下水委員会》

ダム上流の最終処分場及び周辺河川の水質検査結果、太陽光発電システムの設置件数と普及率、それに伴う経済効果及び二酸化炭素削減の効果、資源化物持ち去り行為防止対策事業の条例施行後の効果、家庭系生ごみの減量モデル事業の実施等について、それぞれ質疑応答がなされました。

《都市企業委員会》

市役所前地下駐車場の指定管理者の指定、住宅エコポイントの相談窓口、平和通付近の自転車専用レーンの駐輪問題、都市公園の水洗トイレ化及び周辺駐車場の問題、企業局の経営改革と集中改革プランによる職員数削減等について、それぞれ質疑応答がなされました。

《産業経済委員会》

市内の高卒・大卒者の就職内定率と雇用対策、ひとり親家庭等の在宅就労支援、ドラマロケ地等に対し積極的に観光誘客を働きかけること、かんきつ農家品種転換緊急対策事業の補助内容及び実施期間、競輪事業のうち、本場開催の入場者数及びナイター競輪の状況、道後温泉利用客の状況及び入浴マナーの向上等について、それぞれ質疑応答がなされました。

《水資源対策特別委員会》

石手川ダム集水域の放置竹林を広葉樹に植え替えることによる効果、本市で開催される「雨水ネットワーク会議全国大会」、松山分水の署名活動への本市の対応等について、それぞれ質疑応答がなされました。

